



「EG おおさか」な
場所やひとをご紹介

大阪府を中心に「産学公民金」が連携し企業の「発掘と育成」に取り組む、大阪版エコノミックガーデニング「EG おおさか」。EG なキーパーソンや支援機関の取り組みなど、毎号広域な視点でご紹介します。

EG でいこう！

企業の「ニーズ」発の産学連携にフォーカス。 ものづくり企業の技術的課題に応える共同研究を支援。



JSTは大学の意見を取り入れつつ産学連携を展開。大学のシーズや、逆に企業のニーズを発表する場を提供し、産学のマッチングを支援している。各種公募に関する説明会は毎年2月から関西エリアをはじめ全国で実施される。

新たなビジネス展開を願う中小企業にとって、産学連携は有効な手法のひとつだ。大学側のシーズ等を起点として持ち込まれる共同研究やライセンスも少なくない。しかし実際、多くの企業が、産学連携を身近に感じ、積極的に活用できているのか？ 企業側の課題やニーズが明確であっても、「学」側へどうアプローチするか。大手企業と比べ、大学や研究機関との接点が少ないものづくり企業の場合、最適なパートナーとの出会いや資金調達など、参入のきっかけを手繰り寄せるノウハウは十分とは言えない。そんな企業側のニーズを起点とした「敷居の低い、産学連携のおためし」が始まっている。国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の出先機関として3年前に設置された関西リエゾンオフィス。科学技術イノベーション創出の調査や大学などの研究活動の把握、成果の調査及び機構の各事業の情報の提供をはじめ、大学向けの知財支援やナノテクノロジープラットフォームなどさまざまな事業をおこなう。そのなかの「マッチングプランナープログラム」は、「JSTのネットワークを活用して発掘した地域の企業と、全国の膨大な大学発シーズとをマッチングプランナー（MP）が結びつけ、共同研究から事業化にかかる展開を支援することで、企業ニーズを解決し、付加価値や競争力のある地域科学技術イノベーションの創出を目指す」（チーフ・リエゾン・オフィサー平原良広氏）というもの。公募による「企業ニーズ解決試験」は共同研究費をJSTが支援し、産学連携を



3月1日にグランフロント大阪で開催された、JSTの20周年記念シンポジウム「明日への飛躍を目指して～ベンチャー企業が日本を救う～」

後押しする内容になっている。研究費を管理するのは大学・高専・公設試験研究所。基準額は170万円で、研究開発期間は6月～3月末まで10ヶ月（医療分野は対象外）。「まず企業の課題内容をヒアリングし、それから大学の先生を何名かをリストアップして企業に選んでもらい、一緒に訪問します」とMPの長岡由起氏。今年度からスタートしたばかりのこの制度、すでに2回の公募で、のべ366社が採択された。大阪の企業も多いという。内容は「センサーの性能アップ」「スマートグリッド対応装置の開発」といったものから「線径100ミクロン極細糸半田の大幅な歩留まり向上」まで、最先端技術だけではなく、生産性の向上等、次のステップアップに向けた課題解決も対象となる。「本格的な産学連携につなげることが最終目標。ここでプロトタイプまでつくってもらって、採算性を持って量産できるかは次のファンディングで挑戦していただきたい」（長岡氏）。解決試験終了後も、JST内外のプログラムへの申請や展示会への出展などの提案とともに、他の支援機関と連携した伴走支援の実施など、事業化までしっかりサポートするスタンスだ。産学連携に躊躇していた企業もここで、はじめの一步を踏み出してみよう。

国立研究開発法人 科学技術振興機構
イノベーション拠点推進部 地域イノベーショングループ
TEL 03-6272-4732 E-mail mp@jst.go.jp
※ 関西リエゾンオフィス（MPの地域活動拠点）
大阪市淀川区宮原 3-4-30 ニッセイ新大阪ビル 15F

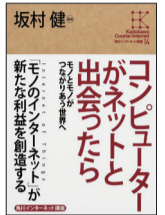
SELECT at LIBRARY

IoTという言葉は1999年に登場しましたが、関連図書は最近になり出版されるようになってきました。そのため、まだまだ点数は多くありませんが、中央図書館より2冊ご紹介いたします。

コンピューターとネットワークの進化を知る

角川インターネット講座 14
「コンピューターがネットと出会ったらモノとモノがつながりあう世界へ」

監修：坂村健
KADOKAWA



この本はコンピューター関連の用語が多く使われており、詳しくない人は難解に感じるかもしれません。しかし、読みやすい文章で書かれており、本文の下部に用語の解説もありますので、IoTとは何か、について強い関心を持っている人は一読されてはいかがでしょうか。

IoTの生みの親による初の著書

「馬を飛ばそう IoT提唱者が教える偉大なアイデアのつくり方」

著者：ケヴィン・アシュトン
日経 BP 社



「IoT」を提唱したケヴィン・アシュトンさんが初めて執筆した本。アイデアを創造する力は天才が奇跡によってもたらす魔法に近いものとして考えられがちですが、著者はそれを否定し、地道な努力の結果だと結論付けています。著者の経験と過去の実話からなぜそうなのかを解き明かしています。



西尾 恵一氏

大阪府立中央図書館

東大阪市荒本北

MOBIOの常設展示場で会いましょう



モビオカフェミーティング ログ

ものづくり企業の情報交換と交流の場！
来て！見て！話して！ゆるくつながりましょう。
「話せばわかる」の精神で、
まずは参加者同士知り合うのが近道。

Blog も見てね

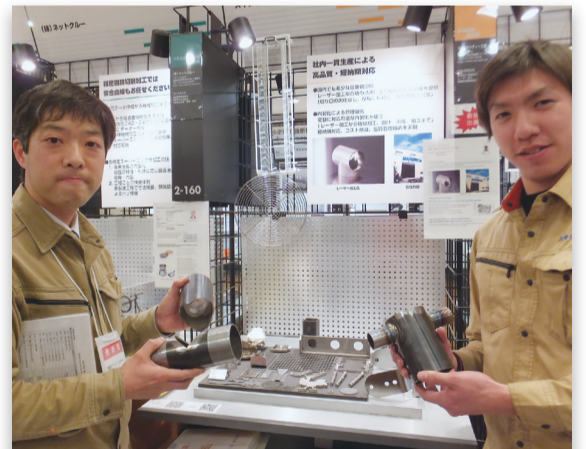
<http://www.m-osaka.com/mobioblog/>



えひめ「スゴ技」企業 10社と交流

四国から初出展の企業が MOBIO に集結。ものづくりと人が「つながる交流」を実践。竹中金網株式会社の塗装量を削減した金網「パンプスクリーン」は、人にも自然にもやさしいエコ対策商品で羽田空港でも採用されている。

1/26 UPDATE



常設展示場に出展のものづくり企業 3社プレゼン

角パイプ・丸パイプ・異形材のレーザー加工のスキグオリティー工業株式会社は、大型の加工機の導入で、各サイズの丸もの、角材加工が出来るのが強み。イメージを形にする技術、提案型の試作から量産まで、徹底した品質管理と熟練工の高い技術で、難易度の高い製品の製作も一貫して対応している。

2/17 UPDATE



「近畿大阪銀行ものづくり企業展」 出展企業と交流

MOBIO オープン当初から常設展示されている三元ラセン管工業株式会社も今回の企画展に出展。摂津市の三島金型株式会社からは特許設計で飛距離 UP する「ゴルフ TEE」のプレゼン。一般発売も予定している。

1/8 UPDATE



『関西ものづくり新撰 2016』 選定製品・技術のプレゼン

近畿経済産業局が選定した「優れた」「売れる」製品・技術を12社がプレゼン。中でも常設展示もやっている佐々木化学薬品株式会社の「エスビュー S」ジェルは、ジェルを塗ることでステンレス鋼の溶接焼けの除去が可能。フッ酸・硝酸不使用なので、人体や環境の負荷と洗浄排水処理の負担も軽減する。

2/2 UPDATE

今後の予定

新年度、4月以降のMOBIO-Cafe Meetingは月2回のペースで開催しますので、MOBIOのHPかメールマガジンをチェックして、ご参加ください。

詳しい日程・内容などはMOBIOのHPで
<http://www.m-osaka.com/>